

薫 鎖



No.134

平成26(2014)年7月

「躍如也」

学校長 澤井 淳

淳



本校には学校設立の根本精神を表す標語である「校是」や訓育上特に必要と思われる教えである「校訓」を成文化したものはありませんし、成文化する動きがあったことも承知しておりません。戦前から「質実剛健」や「文武両道」は使われていました。戦後の新学制になった時がチャンスであったと思いますが、その制定を取りあげる動きもありませんでした。そこに「躍如也！」（やくじょたり）が加わったのが昭和二六年です。当時の生徒手帳「われらの学園」の最初にこの詩が掲げられていました。「・・噫！われら薫ヶ丘に集ふもの・・躍如として学業にいそしまん」となっています。作者は不明ですがはつきりとした表現となっています。生徒に何を求めるのか明文化されていたため、心動かされた生徒も多かったと思います。しかし残念ながら昭和二九年には生徒手帳から姿を消してしまいました。「躍如也！」は生き生きとして活動するさまを表した詞です。私も校訓的な意味を持たせてよく使います。生き生きと学びに向かうのが本校らしさであり伝統であると思っています。かつての制服自由化への議論や昨年度の自販機設置の議論などにその伝統が生きていると思います。

では、「質実剛健」、「文武両道」、「躍如也！」を実践して何を指すのか。学校のありようや生徒に目指してほしい姿はいったい何なのか。「校是」として掲げるにふさわしい詞はなにか。多くの諸先輩が提言されています。それについては次の機会に譲ろうと思います。

うれしい喜び

教頭 松田 章利



大江健三郎の『「自分の木」の下で』の中に次のような箇所があります。「野球で、ジャストミートということはどうでしょう？本と、それを読む自分とのジャストミートということがあるのです。本を読む能力と——成長期では、年齢とおおいに関係します。——その本のための準備の読書、そしてそこまで生きてくるうえでの経験が、それを作り出してくれるのです。」僕は、これに自分のその時の切実な関心の対象を加えれば、完璧な気がします。「あなた方が、ある本とジャストミートするためには、それを読むことを急ぎすぎではありません。しかも、いつも自分の知らない本に目を光らせていて、これは良い本らしいと思ったら、まず、その実物を本屋なり図書館なりで、見ておくことです。——そしてずっと忘れないでいて、ある日、その本に向かってバッター・ボックスに入って行くのです。」

昔、友人に勧められ、ある人のめばしい本を買そろえていたのです。このたび数えてみたら二〇冊近くありました。その中の何冊かは、手にとってみたことはあるのですが、議論が細かすぎて、ついていけなかったのです。最近になって、時間ができて読んでみて、驚いたわけです。まさにジャストミートしてのうれしい喜びでした。その喜びを友人に伝えようと手紙を書いたら力が湧いてくるのです。なぜだろう？今のところ自分でも理由がわかりません。

平成26年度PTAスローガン 「子どもたちの学校環境を しっかりバックアップしよう！」



PTA会長
中山 勝司

今年度は標題のスローガンのもと、子供の安全・安心、同窓会協働による学業面のバックアップ、PTA会員間の交流・連携、の三本柱で取り組んでおります。

安全・安心という面で、スマホの利用方法について生徒の皆さんに提言していきたいと思います。スマホはとても便利で、現代人になくはならないツールです。一方で犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性をはらんでおり、心身共に成長の盛りである高校生にとって、より注意深い対応が必要です。また、特に気になるのはスマホに向かう時間の長さです。LINEやYou Tube、ゲームなどに費やす無駄な時間が多いのではないのでしょうか。自分の生き方、時間の使い方に、自分自身で責任を持って欲しいと思います。

さて、我が子も三年生になり、いよいよ真剣に進路のこと、自分の

将来のことを考え始めました。話を聞くと、自分のやりたい仕事は地元の企業では成し得ないようです。伊那市人口がいよいよ7万人を割り込んだとのニュースがありました。将来の可能性に期待しながら当校に進学し、学友と切磋琢磨し、志を高く持って大きく羽ばたいて欲しい、と思いながら、それが順調なほど子どもたちは地元には帰ってこない。ジレンマを感じます。若い頃は大都市での生活に憧れがあると思いますが、緑に囲まれ、春夏秋冬のメリハリのあるこの信州に、地元にもっと魅力を感じて欲しいものです。一時は都会に暮らすのもよしですが、多くの伊那北高生に、是非とも連れ合いを連れて戻ってきて欲しいと切に望みます。



学校長と本会メンバー

一年間よろしく願います！



3年副会長
瀧澤 充



2年副会長
会田 清文



3年副会長
松浦美恵子



2年副会長
伊藤 香里

1年クラス紹介



A

担任

北村 邦彦先生(社会)

副担任 **佐藤 勇揮先生(数学)**

一年生の授業を全く持たないHR担任なので、毎朝のSHRで「訓話」を語りかけています。学力を身につけ「将来**になりたい」という夢を実現しよう。協調性と公共性、指導力と正義感などを養い、日本を背負って立つ人材となれ。教員人生最後の担任クラスとして、理想に描いてきた教育をしていきたいと思ひます。

担任

河合 斉先生(英語)

副担任 **片桐 邦雄先生(理科)**

1 B諸君の控えめな性格がたたったのか、春のクラスマッチでは最下位という結果に終わってしまったが、十分見せ場は作ってくれたと思う。『何事も、やる時はやる』という気概を持った1年B組。今後の行事等では、更に結束を固め、その秘めたパワーを表に出し躍動してくれるものと期待している。

B



C

担任

宮下 敏明先生(数学)

副担任 **田中 律子先生(理科)**

副担任 **荒井 淳子先生(国語)**

C組は明るいクラスでいつも笑い声が絶えません。勉強もクラブも行事も清掃もしっかり取り組んでいます。そんなクラスの担任をやらせていただき幸せです。1年間でどこまでいいクラスになるのか楽しみです。

クラス担任による



担任

柿沢 章浩先生(体育)

副担任 **武田 邦秀先生(社会)**

とても元気が良く、積極的に行動できるクラスです。また、お互いに協力しあい、団結力があります。今後は文化祭・合唱コンクール・秋季クラスマッチと団結力が試される行事があります。1年間だけのクラスなので、みんなで協力し、楽しいクラスになって欲しいです。

担任

中谷 章先生(国語)

副担任 **木村美由紀先生(英語)**

副担任 **福澤 桂先生(英語)**

1年E組という特定の集合的なアイデンティティを緩く持ちつつ、一人一人の存在の独自性という最も大切なものを失わない、そんな人々であってほしい。今、自然とそういうクラスになりつつあるような気がしています。しかし、それを持続するには強さが必要です。頑張りましょう。



担任

井手 俊毅先生(理科)

副担任 **川口 陽司先生(情報)**

副担任 **登内 将志先生(体育)**

理数科クラスであるF組には、何事もそつなくこなす生徒が多い。部活所属率は100%。日々練習で忙しい中、時間を見い出して勉学に励んでいる。自身の将来像がわりと具体的な生徒が多いのも特徴だ。なかでも医薬系志望者が多い。





クロスペンアカデミー開講式・講演会 演題 「オーケストラから 見る人・組織・未来」

講師 山岸 淳子 さん

クロスペンアカデミーの本年度開講式及び講演会が、本校OBで、日本フィルハーモニー交響楽団特命担当を務める山岸淳子さんを講師にお招きして行われました。

山岸淳子さんの プロフィール

伊那市山寺出身、伊那北高校卒業（高39回）。

東京藝術大学音楽学部楽理科進学後、音楽史や音楽理論を専攻。

1992年日本フィルハーモニー交響楽団入団。広報宣伝部長、企画制作部長等を経て、現在特命担当。

〈著書〉『ドラッカーとオーケストラの組織論』 PHP新書 2013年出版

山岸淳子さんは、経営学者ピーター・ドラッカーのオーケストラを21世紀の理想の組織モデルと見た考えを紹介し、組織の中で働くことの意味について話されました。

オーケストラは指揮者の下、互いの演奏を聴き、自分の判断でその日の演奏をしている。21世紀の社会は、多くの情報の中で自分で判断し、責任を持って行動（演奏）しなければならない。

また、ご自分の高校・大学生時代を振り返り、自分の好きなことをやりたいと思い、40歳の自分はどうなっていたらハッピーか?と考えた。自分の人生は自分で決めることだが、自分ひとりで決めることでもない・・・とアドバイスをいただきました。

生徒の感想

- ・一人ではなく集団であるということを知り、本当に、人生全てにおいて一人で行動しているのではなく、仲間とともに行動していると改めて感じました。特に「将来は自分ひとりで決めるものだけれど、自分ひとりで決めることでもない。」という言葉には考えさせられました。
- ・オーケストラの視点から組織を見るというのが新しく、とても魅力的でした。最初の質問で未来の自分を想像したとき、20～30才を思い浮かべ、話を聞いているうちにその未来がリアルになってきました。



保護者の感想

- ・人生の選択、将来の自分、働くことの意味等、自分と周りとの関係を「組織として見たオーケストラは社会の縮図である」と定義し、音楽と関わりながら歩んできた山岸さんのお話を興味深く聞かせていただきました。
- ・子供達が将来の選択をする時、社会に出て働く時参考になるお話でした。私も改めて自分の仕事について考えさせられました。



クロスペンアカデミー (Cross Pen Academy)

平成15(2003)年度、学校5日制に伴い、土曜日の有効活用の一つとして「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」が設立され、同窓会・PTA・職員の共催により始まる。英数国等の補習に加え、多彩な講演会と講座を開催。

進学先の就職について考える

ジョブカフェ信州
就業支援アドバイザー

講師: 木藤 敏 氏

ジョブカフェ信州とは

長野県が厚生労働省や市町村、NPOと連携して、カウンセリングから職業紹介まで、就職に関するさまざまなサービスを提供している。「若者誰もが気軽に立ち寄れる空間」をキーコンセプトに、40代前半までの、失業者・無業者、フリーター、学生・生徒などをサポート。喫茶店やコンビニに行く感覚で来られるようにカフェと名付けた。

【講演内容】

- ・働く意味とは、ズバリ生活していくためである。大人になるとは、確かな仕事を持って自活する、ことから始まる。
- ・職業形態の二極分化。正社員とアルバイト・派遣・契約社員。23才～60才生涯賃金の差はなんと約2億円。定職に就くかつかないかでは(現状では)大きな違いがある。
- ・高学歴化するフリーター、ニート。また大学卒なのに高校卒と同じ仕事をすることがある。
- ・高校卒業後、なんとなく進学する→モラトリアム(猶予期間)的発想での進学は危険すぎる。大学で何をするという目的意識を持って進んでほしい。
- ・インターネット求人では一人平均62件応募する。例)JR東日本。求人700名へ15,000名応募。倍率20倍超え。
- ・若い人の人生の2つのターニングポイント。25歳・大卒後3年でしっかりとした仕事に就いている。30才・結婚。1つの家庭を持つこと。30才過ぎてフリーターはきつい。そのため、しっかりとした仕事に就くためのスキルを持つこと。
- ・大学は全国で783校ある。入りたい人は、誰でも入れるが「自分がやりたいことができる学校」をしっかり選ぶ。



まとめ

- ①働く:自分のプライドを保つに足りる自分の仕事を求める。
- ②25歳までには正社員になることを目標にする。
- ③1番の夢がかなわなくても、形を変えて自分の人生を飾っていくことはいくらでもできる。
- ④モラトリアムな形で進学することをやめる。

「強いものが生き残るのでなく、適応できるものが生き残れる」

ダーウィンの言葉より

【クラス毎、グループで話し合い】

講演の後、クラスごとに「働く、今必要なこと」をテーマに生徒を中心に・保護者・先生による話し合いを行いました。その中では、「自分を知る必要がある」「社会常識を身につける」「アピール力、コミュニケーション力を高める」「視野を広く持つこと」などの意見が出されました。

保護者の感想

☆高校生活のスタートを切ったばかりの1年生に、3年後4年後の自分を考え、厳しい現実また、自分の夢を考えるために、とても有意義なお話だと思いました。なんとなく進学するのではなく、明確な目標を持って勉強することがいかに大事かということがわかりました。



Memo

PTS (Parent Teacher Student)

昭和45(1970)年以來の伝統行事である保護者、先生、生徒三者による合同活動。ここ10年来は1学年が講演会の後、クラスでテーマを決めてPTSにより意見交換会、2・3学年は進路講演会が生徒とその保護者それぞれで行われている。

PTA総会開催

【平成26年度PTA活動計画】

平成26年				
4月	4 (金)	入学式	クラス理事選出	1学年PTA理事会
	12 (土)	クロスペンアカデミー講演会		
	19 (土)	会計監査	PTA理事会	専門委員会 学年理事会
5月	7 (水)	生活指導委員会 (地区PTA打ち合わせ等)		
	24 (土)	PTA総会	学年PTA	学級PTA
	30 (金)	上伊那高等学校PTA連絡協議会		
6月	2 (月)	6月2日(月)～18日(水) 地区PTA(各地区の日程による)		
	7 (土)	前期クリーンアップ作戦 (1年生)		
	21 (土)	～22日(日) ペン祭		
7月	3 (木)	長野県高等学校PTA連合大会総会		
	3 (木)	7月3日(木)～4日(金)北信越PTA連合会研究大会		
	5 (土)	PTAカルチャー講座		
	19 (土)	諏訪・上伊那地区高等学校PTA指導者研修会		
	24 (木)	薫嶺134号発行		
8月	21 (木)	8月21日(木)～22日(金)全国PTA連合研究大会(福井)		
9月	12 (金)	合唱コンクール		
	30 (火)	強歩大会(立ち番等)		
10月	4 (土)	後期クリーンアップ作戦(2・3年)		
	18 (土)	クロスペンアカデミー講演会		
平成27年				
1月	30 (金)	第2回上伊那地区高等学校PTA連絡協議会		
2月	21 (土)	3学年会計監査	PTA理事会	学年理事会
	23 (月)	次期役員信任投票		
3月	3 (火)	薫嶺135号発行		
	4 (水)	卒業式		
	13 (金)	新3学年理事会	専門委員長選出	専門部引継
	20 (金)	新旧正副会長引継会		



平成二六年五月二四日、薫ヶ岡会館において、多くの保護者の方々にご出席いただき本年度のPTA総会が開催されました。昨年度の活動報告、会計報告、及び

今年度の活動計画、会計予算が承認・可決され、本格的に活動がスタートしました。今年度のスローガンは、『子供の学校環境をしっかりとバックアップしよう!』です。クリーンアップ作戦、カルチャー講座(本年度より呼称変更)、合唱コンクールなどの活動に積極的にご参加いただき、共に子供たちの学校環境の充実をサポートしていきたいと思います。



平成二六年七月三(四)日、ホクト文化ホール、メルパルク長野に於いて、標記の大会が開催され、PTA正副会長が参加してまいりました。総会では昨年度の活動報告、会計報告、及び今年度の活動計画、会計予算が承認されました。その後の研究大会では、四つの分科会に分かれ、それぞれのテーマに即し、北信越の各県代表者からの活動発表があり、熱心な質問等もあり、同じ課題を抱えていることを再認識、また共有でき、大変意義のある会となりました。

**長野県高等学校PTA連合会総会・
北信越地区高等学校PTA連合会
長野大会**

PTA地区懇談会 13地区で開催



六月二日の「飯島、中川以南」、「美簗・手良・美原」地区を皮切りに一六日までの約二週間にわたり、今年度も全一三地区でPTA地区懇談会が行われました。

全体会では地区の代表者の挨拶とPTA役員と校長先生や教頭先生からのお話の後、地区担当の先生方から生活指導と学習・進路指導のお話をいただきました。生活指導では、交通事故に注意すること、学校や家庭におけるスマホ使用の状況やLINEの危険性についてお話を聞きました。また、学習・進路指導ではクラブ活動との両立や毎日の授業を大切にすること、高志館や校内の自習室を利用し、受験は団体戦で戦う気持ちで、受験生全体で取り組む姿勢が大切であることなどのお話がありました。七月には東京で大学ガイダンスがあり、毎年多くの生徒保護者が出席して、進路を考える上で有意義な一日であることの説明がありました。

その後の学年別に分かれての分散会では、学年担当の先生から学校での生徒の様子や学校全体の様子をお話いただき、その中で各家庭での生活や学習への取り組みなどについて情報交換を行うことが出来、大変有意義な会となりました。

自転車通学が多いので事故に気をつけたい。

高校生の小遣いはどのくらい必要か。

エアコンを研究室・教室に配置したらよい。

大雪の時などJRの情報が少ない。部活動後、大雪で帰れなかった。

土曜授業の日、授業に間に合うJRバスがない。

生活のリズムが出来ていない。土日のクラブで疲れている。

土曜授業の帰宅の際の電車がない。12時後半の電車が欲しい。

部活等での帰宅時間の配慮をして欲しい。

各地区から出された意見・問題点等

クラブ・委員会の連絡がLINEで来るので(持たせなくなかったが)携帯からスマホに変えた。連絡方法を考えて欲しい。

平成26年度PTA地区懇談会一覧

地 区	月 日	場 所
飯島・中川以南	6/ 2	飯島公民館
東中	6/ 9	東伊那公民館
赤穂中	6/11	アルパ
宮田	6/ 5	J A 宮田
西春近・東春近・富県	6/10	東春近ふれあい館
荒井・坂下・西町・御園・山寺	6/16	いなっせ
中央区・境・福島・上の原	6/ 3	伊那公民館

地 区	月 日	場 所
西箕輪	6/13	西箕輪公民館
美簗・手良・美原	6/ 2	きらめき館
高遠・長谷	6/ 4	高遠町総合福祉センター
南箕輪	6/10	南箕輪村民センター
箕輪	6/10	松島コミュニティセンター
辰野以北	6/ 4	辰野町民会館

大学入試の現状と入試について

講師：板垣 宏繁先生 駿台予備学校

センター試験まであと7ヶ月ほどになり、3学年の生徒と保護者それぞれを対象に講演会が開催されました。保護者に大切な心構えと大学入試の現状を数値やグラフを使って、分かりやすくお話いただきました。80名を超える保護者の方は真剣な眼差しで聴かれていました。



大学入試は団体戦

指導：先生の指導、合格した先輩の経験

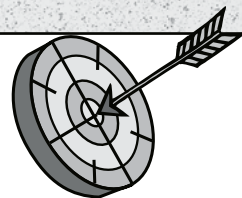
環境：ともに頑張る友人、仲間

支え：ご家庭の応援



【講演の要点】

- 後悔しない大学選びを！
- センター試験まであきらめない。
(現役生は11月から伸びる)
- 模試の判定に一喜一憂しない。
- 苦手科目は平均点より少し上を目指せ。
合計点が勝負！
- 基礎学力・学習習慣の確立！
学校の授業！テストは必ずやり直す！
帰宅したら「部屋に直行」「通学服のまま」で勉強する。



「入れる大学」ではなく、「入りたい大学」へ！

=入りたい大学に入るだけの力をつける。

実力の1つ上を狙え！そのための努力が成功につながる！第一希望は譲らない

【保護者の心得】

「もう無理」は保護者が決めない。

心配になっても親も我慢。最後まで子どもを支える。

保護者の感想

- ・大学入試の現状や複雑な出題科目の選択についてなど、まだ、認識不足なことを詳しく 解説していただき、とても参考になりました。
- ・試験が終わるまで、子どもに寄り添い、一緒に受験を乗り越えていきたいと思います。



第60回 ペン祭 講演会

講師 落語家 春風亭愛橋 さん

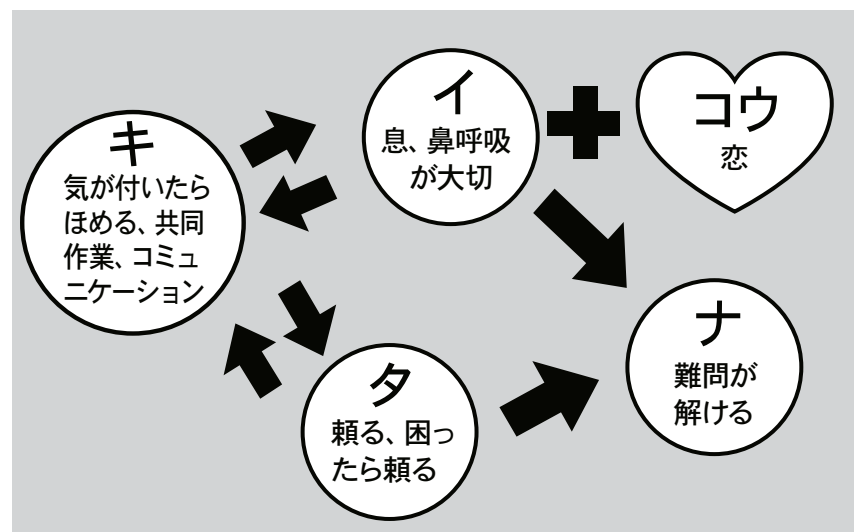


講演

「絶望した事がありますか？」
の問いかけに始まり、伊那北高校
時代から真打昇進披露公演までの
お話を、笑いと共に聞くことがで
きました。



何とか人生乗り切れる「伊那北高の理論」



《プロフィール》

本 名 箭内 広光 (やない ひろみつ)
昭和46年 駒ヶ根市に生まれる

伊那北高校、福井県立大学を卒業後、サラリーマンを経て、平成9年春風亭柳昇に入門、前座名春風亭柳二郎。平成15年柳昇死去のため昔昔亭桃太郎門下へ移り、裕次郎改め、Q太郎改め、あるところ改め、昔昔亭健太郎と改名

平成24年 真打昇進 「春風亭愛橋」を襲名

落 語



演目「お菊の皿」

生で聴く、観る落語は迫力満点でした

Q&A

Q: ペン祭のどこをみたいですか？

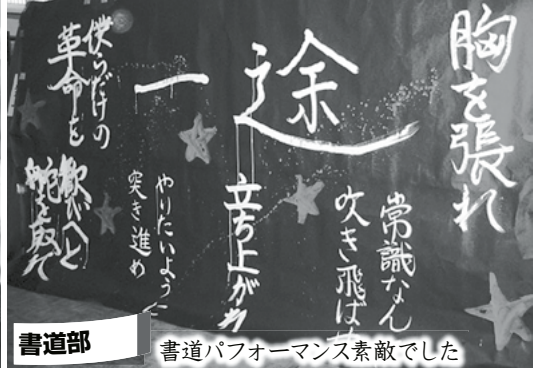
A: 一番笑ってくれた人のところですよ。

Q: 司会をするにあたり、面白い話術を教えてください。

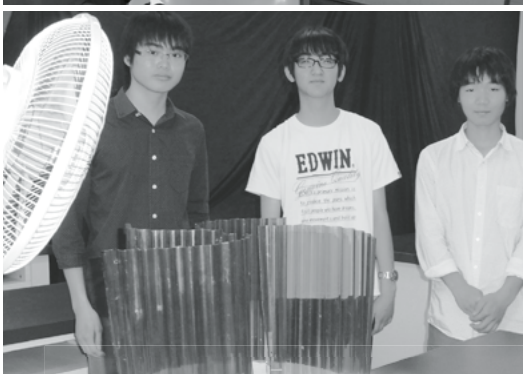
A: 恥をかくこと。恥をかきまくれば、免疫がつく。すべってもいいや、ドン引きされてもいいやと思うことです。



入口のライト
完成度が高い



書道パフォーマンス素敵でした



スライム
作り中



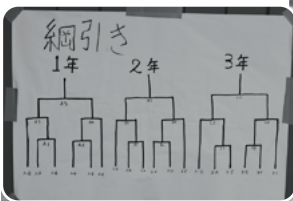
素敵な写真が
たくさん
ありました





60thペン祭 スポーツ フェスティバル

第60回ペン祭の最終日、スポーツフェスティバルが行われました。前日の雨も上がり、綱引き、リレー、玉入れ、障害物競走等あちこちで歓声が上がり、熱気にあふれていました。



活躍する伊那北生

将棋部

◆男子団体（県大会優勝、全国大会出場）

野澤 聖幸(3A)

伊那北代表であり、長野県代表として出場する全国大会。県大会よりもハイレベルで、そう簡単には勝たせてくれない。プレッシャーに負けず、これまで積み重ねてきた経験と勘を武器に仲間と共に勝利を掴んでいきたい。

高木 涼太(3D)

団体戦は一人一人の勝利がチームの勝利につながる。いわば個人戦だ。今回で最後の大会になるが、これまでの3年間で先輩、先生から学んできたことを全て無駄にせず、一局一局最後まで全力で指したい。

片桐 壮太郎(3F)

全国大会では、今まで3年間やってきたことを信じ、最後まで諦めず、全力で戦っていききたい。全国の強豪相手に一矢でも報いることができるよう頑張りたい。



◆女子個人

堀口 妙子(2E)（県大会優勝、全国大会出場）

今回の全国大会での私の一番の目標は、落ち着いて指すことです。今の自分の力が出しきれるよう、自分の一手に相手がどんな手を指すのか、落ち着いて考え、ミスを減らしていきたいです。

前田はるひ(1C)（県大会3位、全国大会出場）

県大会での勝利は先生や先輩方、そして私と対局してくれたたくさんの方々のおかげです。だから全国大会では感謝の気持ちを持って、実力はまだまだですが、最後まであきらめずに頑張りたいです。

フェンシング部

神奈川県藤沢市で行われるインターハイに、伊那北フェンシング部から男子2名、女子4名が出場します。優勝を目標にする者もいれば、高校からフェンシングを始めて初めてインターハイの大舞台に立つ者もいます。それぞれ目標は異なりますが、自分の掲げた目標に向けて全力で挑んでいきたいです。

出場選手

赤羽 郁海(3A) 個人フルーレ

塩原 智輝(3A) 個人エペ

上田 果歩(3F) 個人エペ・学校対抗

飯島 安珠(2A) 個人フルーレ・学校対抗

渋谷茉璃乃(2F) 学校対抗

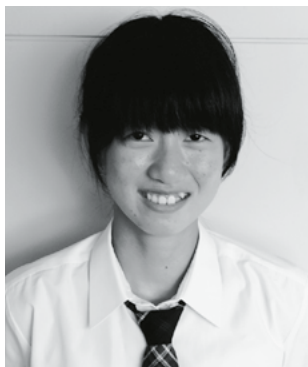
村松 佐恵(1D) 学校対抗



陸上部

西村 千明(2C)

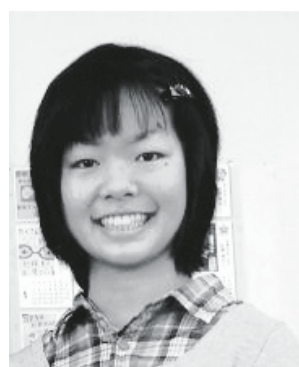
7/30～8/3に山梨県で開かれるインターハイに出場します。初めてのインターハイで緊張はありますが、去年出場できなかった分、全力で戦ってきたいです。



写真部

熊谷 佳奈(3E)

目に見える写真だけでなく、心で何かを感じてもらえるような、人を感動させられるような写真を撮れるように、他校の作品をよく見て、学んできたいと思います。



第12回

7月5日(土)

PTAカルチャー講座

「PTAクロスベンアカデミー講座」を今年から「PTAカルチャー講座」と名前を変えて文化
教養委員会が中心となりスポーツ、芸術、趣味と教養を深める沢山の講座が開催されました。



PTA会長挨拶



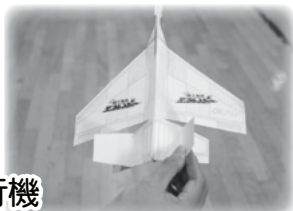
講師の皆様



文化教養委員長



飛行機



ネイチャープリント



プリザーブド
フラワーアレンジ



手作りパン



PTAカルチャー講座

第1回は平成15(2003)年10月18日に「薫ヶ丘クロスベンアカデミー」の一環として文化教養委員会が企画して開催。翌年第2回からペン祭後最初の土曜日に実施。講座は、文化・教養・趣味系とスポーツ・健康合わせて15前後で推移。第12回となる今回より「クロスベンアカデミー講演会」との違いを明確にするため、名称を「PTAカルチャー講座」に変更。

PTA Culture Course



ネイチャープリントでアクセサリー作り ～マーメルト（メタリック樹脂）を使って～

ネイチャープリントインストラクター
—— 野澤伊代子先生

マーメルトというメタリック樹脂を使い思いのままのアクセサリーを作りました。

参加した方の声

初めてでしたが少人数で丁寧に教えていただきました。あっという間の二時間でした。

材料をたくさん用意して下さい自分のアイデアでいろんな作品作りができて楽しかったです。

家でもやってみたいと思いました。ありがとうございました。

プリザーブドフラワーアレンジ

花や葉を特殊液の中に沈めて、水分を抜いた素材がプリザーブドフラワーです。花のある素敵な空間をつくりました。

参加した方の声

講師の先生に感謝!! とても大きな作品ができあがり満足です。残る物はいいですよ。長く楽しめます。

人数も丁度よく先生のご指導も受けられました。また次回も参加できるといいなと思いました。

IFAフラワーコーディネーター協会
—— 平澤いずみ先生



紙飛行機を作って飛ばそう!

—— 竹内 浩一先生

ケント紙で作成する本格的な飛行機。ゴムパチンコで打ち上げると体育館の端まで届きました。

参加した方の声

毎年この講座を楽しみに参加させていただきます。中学校で教頭をやっているのので、授業で扱ってみたいくて今回「紙ひこうき」を選びました。

和気あいあいと講座の先生やみなさんとできてとてもよかったです。どうもありがとうございました。大変よかったです。



美文字の基本

主に名前をきれいに書くことを中心に、普段使う家族の名前、住所などの文字に取り組みました。

参加した方の声

ボールペンの持ち方から始まり文字のへんやつくりの意味を分かりやすく教えていただきあっという間の2時間でした。

便箋で曲がらない様に書く方法や裏技等を教えて頂きこれからの生活に役立てていきたいと感じました。

ありがとうございました。

—— 山岸美智子先生



体験してみようミュージックセラピー

—— 沢登 紀子先生

いつも身近な生活の中にあふれる“音楽”。日頃私達が使っている“言葉”にとらわれないで、今の自分にとって心地よい“音”を探してみました。

参加した方の声

ミュージックセラピーという言葉は聞いた事があったのですが実際にどのような事をするのかを知りたくて参加致しました。体験しての感想は、人との言葉ではないコミュニケーションの楽しさを感じることが出来ました。

他者との調和、創り出している瞬間がとても心地良かったです。参加されている方とも初対面でしたがみなさん優しく温かい時間でした。

ありがとうございました。





ジャズ入門

(歴史・理論、ピアノ・ギター実践 等)

—— 代田 孝先生
—— 大野田豪先生

憧れのJAZZの世界に浸りませんか！どのように作られてきたのか、
どういう音楽なのか、初歩からコード理論・インプロビゼーション
(即興演奏)まで短時間でJAZZが楽しめました。

参加した方の声

とても楽しい時間でした。素人でもOK。楽しめます。

代表的なブルース進行で、即興を楽しむことができました。ジャズの歴史や基本
も知ることができ有意義な2時間でした。

手作りパン教室

—— 小澤 周子先生

ベーコン、コーン入りカレーパン、抹茶あんパン、オレンジミルク
ゼリー（お菓子）を作りました。

参加した方の声

じっくり丁寧に教えて頂き、本当に良かったです。

日頃、思っても挑戦できないパン作りだったのできっかけを作っていただき、
ありがとうございました。



ワインを楽しもう

日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザー
—— 春日 俊也先生

ワインを試飲しながら、おいしいワインの飲み方と知識を深めました。

参加した方の声

ワインについて細かくはば広く教えていただきました。

おいしいワインをいただきながら和気あいあい楽しいひとときでした。

来年も是非参加したいと思いました。

春日先生ありがとうございました。



男の料理教室 ～ローストビーフを作ろう～

—— 下平 和則先生

アウトドアで簡単に作れるローストビーフ。万能鍋、ダッチオーブンを
使って家庭のキッチンコンロで作りました。香味野菜の香りで一味違
うローストビーフが出来ました。

参加した方の声

男の料理というキャッチフレーズにより気軽に参加できました。

限られた時間の中でマスターでき、また、楽しく過ごす事が出来ました。

講師の先生の説明がわかりやすくよかったです。



手作り味噌教室

—— 井口 初江先生

飯島産の茹で大豆で煮つぶし大豆を作るところから始めました。無添
加のおいしい味噌を作りました。

参加した方の声

はじめて参加しました。

ゆでた大豆をつぶして、こうじ、塩をまぜてできあがりとてもシンプルな作り
方でした。

先生が作ったみそでみそ汁を頂きおいしく頂きました。一年後が楽しみです。



PTA Culture Course



生涯スポーツ太極拳

日本武術太極拳連盟B級指導員

—— 矢田 雅子 先生

太極拳は、中国武術の中でも筋肉や脳、精神面など広い分野で効果が期待される優れた健康法です。生涯続けられるスポーツで、整えた体幹から気の流れを感じ体も心もリラックスしました。

参加した方の声

短時間でしたが、太極拳について勉強をさせて頂き有意義な時間を過ごせました。ゆっくりした動きと力を入れない動きを行いました。体全体を使い、その反面脳も使いとても良かったです。良い汗をかく事ができました。

リラックス・基本ヨガ教室

国際ヨガ協会

—— 井口千恵子 先生

ヨガの正しい呼吸法と基本的なポーズをマスターし、心身ともにリラックス。足のマッサージ（足裏健康法）を取り入れて、日頃の疲れの解消方法を学びました。

参加した方の声

呼吸法と基本ポーズを教えて頂きました。久しぶりにゆったりした時間を過ごせました。体の変化を感じながら充実した時間でした。ありがとうございました。



～初心者大歓迎！～ バドミントンを楽しもう！

—— 小松洋太郎 先生

バドミントンの基本とショットの練習、最後はゲームを楽しみました。

参加した方の声

とても楽しくバドミントンができました。体育の原先生にも参加して頂き基本からゲームまで2時間充実してました。担当の係の方も親切でとても良かったです。

ゴルフ教室

P T A 役員を世話役としてコンペ形式でラウンドしました。

参加した方の声

雨のゴルフでしたが楽しくできました。ゴルフ初めてという方も参加できるようにすれば良いと思います。特に女性に参加していただきたいと思います。



取材写真を撮りながら各教室を見てまわりましたが、だんだん打ち解けていく教室あり、徐々に参加者がのめり込んで行く教室ありと、それぞれに面白そうでした。

先生のキャラクターもそれぞれで、教室ごとに空気があって、どれもお薦めでした。

リピーターさんも多いそうです。今年、参加しそびれた人も、是非来年は参加してみてください。それにしても文化教養委員さんの準備の良さとテキパキとした進行には感心しました。
(広報委員会取材担当)

交流会





KUNREI

No.134

平成26(2014)年7月

編集後記

四月から消費税が上がり、年金や福祉のことが話題になり、憲法改正・集団的自衛権の議論が行われたりと、日本の将来はどうなるのでしょうか？

これからの社会を担う子供達のために、明るい未来であることを願うばかりです。

さて、この春広報委員長を引き受けることとなり、みなさんに助けていただき無事薫嶺一三四号を発行することができました。日程がきびしく時間のない中、広報委員・役員の方々、先生、ありがとうございました。本当に頼もしいメンバーでした。

広報委員長 荻原恵美子

編集担当

小澤 二葉 (1C) 宮田真知子 (3C)
 藤井ゆきみ (1C) 桑原 卓男 (3D)
 樋代 明子 (1D) 下平 由美 (3D)
 肥野 志穂 (1D) 松村 稔 (3D)
 瀬沼 洋子 (2C) 伊藤 香里 (PTA副会長)
 黒田 由香 (2C) 西山 高志 (PTA係)
 吉田 直人 (2D) 松田 章利 (教頭)
 小出 正樹 (2D) 写真提供
 荻原恵美子 (3C) マスダカメラ
 木下佐智子 (3C) (一年クラス写真)